

ひまわり通信

SSKS
No.106



令和四年度連協被災地見学会報告

代表理事 隅 一 清

です。

建物の中も、バリアフリーで広々として、まるで美術館の様でした。

コロナ禍で、三年ぶりの福島被災地見学会が実施される事になりました。また、諸般の事情から、施設を訪ねての見舞金手渡しは、無理との事で被災地見学ツアーとなりました。区役所が未だ工事中なので、バスの発着場所が上町駅前になりました。区役所だと翌日まで車を置いておけたので、便利でしたが、今回は移送ドライバーの方をお願いして、参加者の皆様を送迎してもらいました。

バスも、例年の『たけのこ観光』の伊集院さんのスケジュールが合わず、普通の観光バスと、リフト付の福祉バスと二台で行くことになりました。

快晴に恵まれた、十月三十日の朝、定刻に上町を出発して三軒茶屋から首都高速に乗り、常磐道の友部SAに到着、早めの昼食を各自で食べました。

十二時に友部SAを出発して、いわき湯本ICで国道六号線に出て、『いわき震災伝承みらい館』を見学しました。この建物は、三年前に来た時は無かったので、新しく出来たの

です。建物の中も、バリアフリーで広々として、まるで美術館の様でした。語り部による説明や、津波の映像などが流され、今更ながら津波の威力に驚かされました。見学後は、再びバスに乗って、ホテルとぎわの宿浜とくに向かいました。ここは、平成三十年度の見学会の時に泊まった、ハワイアンのすぐ目の前にあるホテルでした。

夕食時には、今回も歌手の響永幸さん、今はコルカの名前で歌手活動をしているそうです。早速、宴会を盛り上げてもらいました。



になっていました。バスの中から、帰還困難区域を見ながら、小名浜へ行きました。小名浜で昼食を食べてから、また常磐道で一路東京へ向かいました。あまり渋滞にも合わず、予定時刻より少し早く上町に到着しました。皆さん、両手にいっぱいのお土産を持って帰って行きました。幹事さん、ご苦労様でした。

参加者 四十二名

令和4年度連協被災地見学会スナップ



ひまわり句会

菅野孝夫 選

南風や畳むタオルに日のほひ
日盛の歩道にベットボトルかな
冷し中華辛子効かせて完食す
万緑の中深大寺の十割そば
エアコンや終夜せつせと休みなく

宮澤 みどり
大谷 のり子

電柱の陰の細さや蟬の声
岩肌をすべる流れやほととぎす
ぬるま湯に顔を洗ひて九月かな
ふるさとの山並低く秋の風
旧姓にうなづく母や吾亦紅

亀井 歌子

初咲の桃色紫陽花み仏に
今生きて平和を生きて蟬時雨
褪せてゐる花のTシャツ夏の果
涼新た自転車で行く美容院
妹の大きな南瓜二個届く

藤田 勝美

猛暑日の夕日の赤の怖いほど
打水や涼しき風の立ち上る
涼しさや公孫樹の陰にバスを待ち
株分けの椿に若き実のついて
故郷のやさしき味や梨を剥く

羽山 貴子

短夜や外に出て見る明けの空
青梅や雨の降りだす遊歩道
月仰ぐ夫の姿は見えねども
柿ほめて柿をもらつて帰る道
川風の時折強き花芒

作田 志津子

でで虫の方向転換見てゐたり
濃く淡く螢飛びまふ窓辺かな
豆腐屋の値札のにじみ夏惜しむ
ビルの裏井戸の鎖や震災忌
熊出ると立札ありて秋の雲

行事報告

◎日帰りバス旅行

甲州ぶどう狩り

九月二十五日(日)

久しぶりに、甲府のぶどう園でぶどう狩りをする事になりました。

いつも利用する浅間園なので、下見の時に確認しなかったのですが、実際には自分でぶどう狩りが出来なくて、ぶどう棚の下でクーラーボックスに入った、冷えたぶどうを食べるだけで、自分で採ってそれを買って持ち帰る事も出来ないのです。

持って帰るのは、売店で売っているシャインマスカットを買って帰るだけでした。

これじゃあ、ぶどう狩りではなくて、ぶどう買いですね！

一応、ここはバーベキューの昼食がセットになっているので、みんなでぶどうの下でバーベキューを愉oshimしました。参加者 三十名



◎秋の一泊二日研修旅行

石和温泉から身延山の旅

十月十五日(土)～十六日(日)

今年の研修旅行は、初日に甲府の昇仙峡に行つて、石和温泉に泊まり、翌日に身延山を見学して静岡に出る計画をたてました。

昇仙峡の奥には、影絵の森美術館があり、レストランも併設されているので、昼食もここで食べられるとのことでした。

下見の時に、食事場所も確保できたのでここを予約しました。

十月十五日(土) 予定通り、栄楽観光の高原ご夫妻の笑顔のもと、世田谷を出発しました。永福ICから中央道に入り、談合坂SAでトイレ休憩をして、甲府昭和ICで高速を降り、アルプス通りを抜けて、一路昇仙峡に向かいました。

標高が高くなるにつれて、紅葉もチラホラ見えるようになりました。

つづら折りの山道を曲がるたびに、眼下に甲府盆地が広がりを見せてきました。

予定通り、昼前に影絵の美術館に着き、早速、昼食のほうとう御膳を頂きました。昼食後は各自、美術館を見学しました。

美術館は、昇仙峡の崖の上に建物があるので、段差も傾斜もあるので、障害のある人や高齢者には、あまり優しくない感じですね。



再びバスに乗って、今日の宿がある石和温泉に向かいました。

前は、『かんぼの宿石和』でしたが、今は『シャトレゼホテル石和』に変わっていました。建物も中身も全く同じでした。

夕食時には、吹笛川で花火大会があったので、食事場所からも花火が見えました。

翌日は、身延山久遠寺に行きました。時間もあるのですが、広い境内をゆっくり散策しました。昼は、身延山を下りた所にある『ゆばの里』で、湯葉の入った松花堂御膳を頂きました。

帰路は出来たばかりの、中部縦断道を通って新清水ICで第二東名に入り、SAで休憩と買物をして一路、東京へ向かいました。

皆様のお陰で、コロナ禍の元、無事に一泊二日の研修旅行が出来ました。ありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。

参加者十四名



◎第三回理事会開催

十月二十二日(土)三時～

令和四年度三回目の理事会が、パレスの会議室で開かれました。

四月から九月までの上半期の収支報告と行事報告の説明がありました。

八月に株式会社大正オーデット様から、世田谷区と通して金五拾萬円の寄付を頂きました。

先般開かれたお礼の会にも出席しましたが、福祉有償移送事業は、当会だけでなく、移送事業だけでなく、“ひまわりの集い”の様なバスハイク等に使ってくださ

◎ドライバー交流会

十月二十二日(土)五時～

一年ぶりにドライバー交流会が開催されました。

理事長の誕生祝いの会と合同になったので、人数も多く楽しい宴席になりました。

永年ドライバーとして協力して頂いた、小川氏が北海道に引越す事になり、そのお別れ会も兼ねました。

三百六十五日、毎日移送して下さる皆様には、本当に感謝しております。

これからも、無事故、無違反で頑張ってくださいネ!



行事予定

◎第四十二回

区民ふれあいフェスタ

今年は世田谷区区制九〇周年となるので、フェスタ展も十一月二十一日～十二月四日(日)まで開催されることになりました。

障害者週間記念作品展は、うめとぴあ一階ロビーで開催されます。

例年通り会からは、書道、俳句、絵手紙等の作品を展示しております。また、十月末に連協の一泊二日研修旅行の時の写真も併せて展示していきますので、是非ご覧ください

◎一月新春新年会

コロナ禍で二年中止になっていた新年会は、会の事務所の前にある中華レストラン華空間で開催します。

この頃にはコロナも治まって、楽しい会が開かれる事を祈っています。

・日時 一月十五日(日)十二時～十五時
・会費 一人 六千円

※参加希望者は十二月二十日までに事務所に連絡下さい。

※会のドライバーの方には、移送をお願いすることがありますので、ご協力の程よろしくお願いします。

編集後記

大腸にポリープが見つかって、放っておくとガンになるとかで、手術をすることになり、医療センターに一週間お世話になりました。

腸をカラッポにするので、入院早々、下剤を飲まされ、ベッドとトイレの往復が始まりました。

二日目には、医者が来て手術室に運ばれて、ポリープを除去、五日目には退院となりました。退院後、二日間ぐらいいはお粥の生活でしたが、その後は普段通りになりました。

アルコール類は二カ月禁止との事で、この原稿を書いている時点で二週間、禁酒生活が続いています。

朝、昼、晩と飲んでいたのに、人間は我慢すれば飲まないでいられるのだと初めて知りました。

今は毎朝と晩、野菜ジュースを飲んでいきます。酒は百葉の長と言いますので、早く美味しく飲みたいですね! S記

「ひまわり通信」106号

2022年11月30日発行

編集

特定非営利活動法人

編集責任者

ヒューマンハーパー世田谷

住 所

世田谷区野沢3-4-18-102

FAX

03-3487-5081

発行人

03-3422-9281

障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砦6-26-21 (定価100円)